

インターンシップ・PBL 報告会報告書

日時：2018年2月9日（金）13:30～18:30

場所：東京大学工学部2号館2階221講義室

主催：工学系研究科専攻間横断型教育プログラム「機械システム・イノベーション」(GMSI)
科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業(次世代研究者育成プログラム)「最先端融合科学イノベーション教育研究コンソーシアム」(CIAiS)
博士課程教育リーディングプログラム「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」(GSDM)

参加人数：学内 53名 学外 18名

開催趣旨：

大学院教育において、高い専門性は持ちつつ、複合領域で柔軟な応用力を持たせることが求められ、大学のみでは教育が難しい課題解決型の能力を身につけるには、産学連携教育が有効と考えている。ここでは、インターンシップやPBL(Project Based Learning)の事例を紹介し、実際に受講している学生や担当する企業の方とともに、産学連携教育について考える。

スケジュール：

13:30-13:40 開会挨拶 丸山 茂夫（東京大学）
13:40-14:10 インターンシップ報告
Edric John Cruz Nacpil 株式会社リコー
王 思凱 ダイキン工業株式会社
14:10-15:10 PBL 報告
Team1(A・B)： 鉄道における触覚などを利用した情報伝達支援
（東日本旅客鉄道株式会社）
Team2(A・B)： 『宇宙』から事業の未来を考える
（株式会社荏原製作所）
15:10-15:30 休憩
15:30-16:30 PBL 報告
Team3(A・B)： EV（電気自動車）を活用した新規事業の検討
（東京ガス株式会社）
Team4(A・B)： 次世代に向けた船舶のイノベーション
（株式会社商船三井）
16:30-17:00 総合討論
17:00-17:10 閉会挨拶 原田 香奈子（東京大学）
17:30-18:30 懇談会（工学部2号館2階展示室）
PBL表彰式 金子 成彦（東京大学）



開会挨拶 丸山茂夫（東京大学）



会場風景



インターンシップ報告
Edric John Cruz Nacpil（派遣先：リコー）



インターンシップ報告
王 思凱（派遣先：ダイキン工業）



PBL 報告 Team1-A（テーマ提供：東日本旅客鉄道）



PBL 報告 Team1-B（テーマ提供：東日本旅客鉄道）



PBL 報告 Team2-A (テーマ提供 : 荏原製作所)



PBL 報告 Team2-B (テーマ提供 : 荏原製作所)



PBL 報告 Team3-A (テーマ提供 : 東京ガス)



PBL 報告 Team3-B (テーマ提供 : 東京ガス)



PBL 報告 Team4-A (テーマ提供 : 商船三井)



PBL 報告 Team4-B (テーマ提供 : 商船三井)



PBL 表彰式 金子成彦（東京大学）



優秀賞 Team1-A（テーマ提供：東日本旅客鉄道）